



たけだ正光県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

仮称三郷流山橋 事業着手!

用地買収含め、早期完成を要望



6月定例会に登壇し、流山市域の発展を訴える武田県議

流山市選出で、県議2期目ながら、地域の発展に情熱を傾ける武田正光(たけだ・まさみつ)県議は、今任期中早くも7度目の一般質問に登壇し、今年度から事業着手した三郷流山橋(旧仮称新流山橋)について、一日も早く完成するよう、森田知事や執行部へ賛同を呼びかけました。

また、つくばエクスプレスの開業で、都心への利便性が

武田議員 まず初めに(仮称)三郷流山橋について伺います。仮称が今までの「新流山橋」から「三郷流山橋」に変わりましたが、新流山橋のほうが愛着を感じるのですが、仮称なのであまり気にしないようにしたいと思えます。正式名を決めるときには流山や千葉がもつと目立つような名称になるような作戦を立てましょう。

流山市を含め、本県北西部地域の将来を見据えても、江戸川を渡る新たな橋の整備が必要で、地元の方々も、いつ橋が完成するのかと心待ちにしているところでは、

私も(仮称)三郷流山橋については、平成19年の初当選以来、議会において再三質問してきたところで、昨年より千葉県側の取り付け部側道区間については事業着手し、また、今年1月の事業評価審議会を経て、3月には(仮称)三郷流山橋は「平成26年度より事業着手する」という県の対応方針が公表されたところであり、平成26年度よりいよいよ本格的に事業が動き出すことに、大きな期待を感じております。

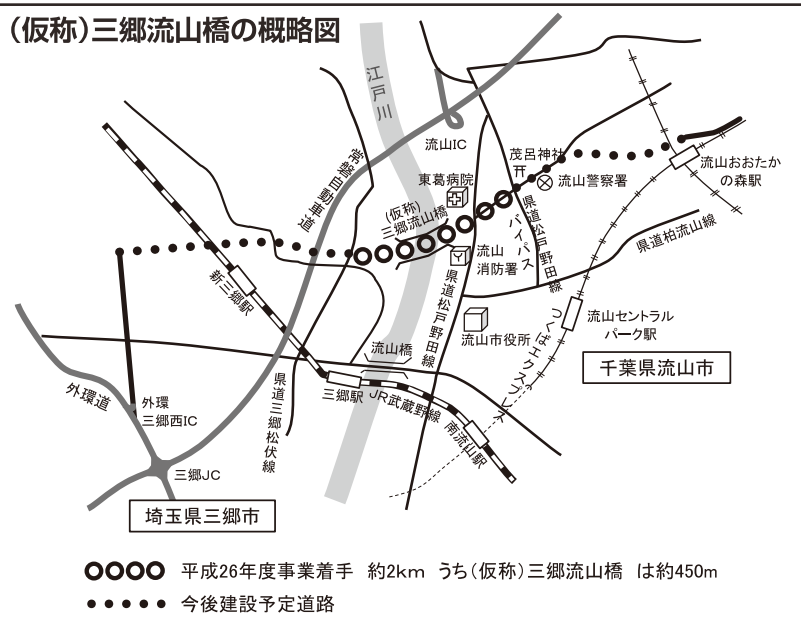
そこで伺います。(仮称)三郷流山橋の進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 (仮称)三郷流山橋は、市街化の進展が著しい東葛飾地域と埼玉県東部地域を結ぶ幹線道路であり、県北西部の発展や流山橋の交通混雑の緩和に大きく寄与するものと考えております。

今年度から、江戸川渡河部を含め、全線で事業に着手しており、渡河部橋梁などの詳細設計を実施するとともに、昨年度から実施している用地取得についても、

6月県議会一般質問に登壇

鋭意取り組んでまいります。今後とも、地元流山市と連携を図り、関係者の協力を得ながら、事業の推進に努めてまいります。



●流山市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください 〒270-0163 流山市南流山4-1-8-1105
たけだ 正光 県議事務所 TEL.04-7159-0518
 FAX.020-4666-1033

ホームページ たけだ正光 検索 <http://www.takeda-hashiru.com>
 ●たけだ正光ブログもご覧下さい。毎日更新中!! ブログ <http://takedama.exblog.jp/>

地権者との情報交換を密に!

運動公園周辺地区の整備

武田議員 つくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業のうち、流山市域の「運動公園周辺地区」について伺います。沿線の他地区では駅周辺を中心に着実に土地利用が進んでいる中、運動公園周辺地区についても、最近の景気の回復基調が続くこの機を逃さず、地元とより一層連携しながら、事業の進行を図ることが重要だと考えています。

また、今年度から地区南側についても、調整池やその周辺の宅地の整備を順次進めてまいります。今後とも地権者の皆さま方には、さらにきめ細かく情報提供するとともに、地元市と連携

しながら、事業のスピードアップを図ってまいります。

要望 県と地権者との強い信頼関係を構築していただくよう要望します。また、保留地については、団塊世代の子供たちが、家を買う時期に間に合うように開発していただきたい。



運動公園周辺地区の区画整理地を視察する武田県議（左）

情報公開で不安解消を要望

武田議員 東京電力福島第一原発事故から3年3カ月が経過しました。この間に被ばく量の低減対策が継続的に進められ、かなり落ち着きを取り戻してきたと感じているところです。

現在、福島県の県民健康調査では、本年3月末時点で外部被ばく量推計を約47万人の方を対象に、内部被ばく量測定を約19万人を対象に実施するとともに、子どもの甲状腺に関する調査では、超音波検査を約29万5千人に実施しています。

この検査結果から、2070人の2次検査対象者が発見され、2次検査対象者の割合などを比較するため、

福島県以外の3県でも同様の方法で検査が行われています。そうした調査を進めていくことは、福島県ばかりでなく、本県でも参考になるものと思われまます。

そこでお尋ねします。福島県における子どもの健康への影響について、どのような状況になっているのか。

保健医療担当部長 福島県では、子どもを含む全県民を対象として、外部被ばく量の推計及び内部被ばく量測定を実施しており、この検査を終了した者の被ばく量は、全員、健康に影響が及ぶ数値ではないことが報告されています。また、平成23年3月11



自席から立ち上がり再質問する武田県議

一原発事故の放射線影響評価を行った国連科学委員会の報告書によりすると、福島県民の甲状腺被ばく線量につきましては、甲状腺がんが大幅に増加する事態が起きる可能性は無視することができると報告しております。

要望 県内各地を含め、引き続き不断の科学的かつ冷静な情報公開を要望します。不安解消を図ってもらいたいと思います。

武田議員 県産農産物の輸出促進、成田空港国際青果市場構想について伺います。

政府は日本再興戦略「農林水産・地域の活力創造プラン」で、農林水産物・食品の輸出額を、2012年の4500億円から、2020年には1兆円まで拡大するとしており、輸出拡大に一体的に取り組むとしています。

先般、ある雑誌の記事が掲載されました。記事を書いたのは、私の地元である衆議院千葉県第7区選出の国会議員で、現在、自民党の農林部会長を務める斎藤健衆議院議員ですが、斎藤氏は、その中で輸出促進を図るため、成田や羽田などの国際空港のそばに、

国際青果市場をつくるのはどうか、と提言しています。国際青果市場とは、空港近くの市場に、輸入国の仲買人が常駐し、農家が持ち込む農作物を買い付けて輸出してくれる。検査などの手続きは仲買人がやってくれるため、農家は市場に持ち込むだけでという仕組みです。こうした提言について、県はどのように考えているのか。

県へ国際青果市場を提言

武田議員 県産農産物の輸出促進、成田空港国際青果市場構想について伺います。

航空便を利用した輸出は、船便に比べ輸送時間が大幅に短縮される一方、物流コストが非常に高くなるといった課題があることから、空港を活用した農産物の輸出に当たっては、こうした課題を解決する必要があると考えております。

放射線による健康への影響を懸念

要望 採算性の厳しさは理解できますが、一度調査していただきたい。千葉県が主体的に調査費をつけて、研究・検討していただくよう要望します。